

CO₂ 荷役・貯蔵設備建設工事 (EPC) の竣工について

日鉄パイプライン&エンジニアリング株式会社(本社:東京都品川区、代表取締役社長:鈴木 隆、以下「当社」)は、このたび、日本CCS調査株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:中島俊朗)より受注し、建設を進めていた「CO₂ 荷役・貯蔵設備建設工事 (EPC)」を竣工致しました。

本工事は、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)の「CCUS 研究開発・実証関連事業/苫小牧における CCUS 大規模実証試験/CO₂ 輸送に関する実証試験」において実施する CO₂ 船舶輸送実証試験のうち、液化 CO₂ (LCO₂)実証試験船により輸送された LCO₂を受入・貯蔵・出荷する設備を陸上に建設したものです。

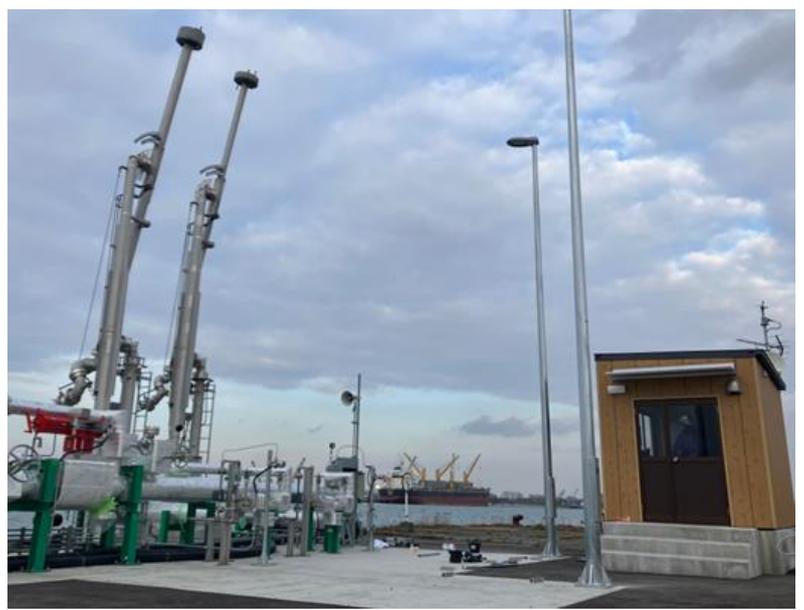
低温低圧状態のLCO₂船舶輸送の荷役基地建設は、本実証試験が初めてのケースです。当社は、基地一式の設計から建設までを一貫して取り組みました。

当社は、今後とも、脱炭素社会を実現するための技術開発に取り組むことで、持続可能な社会への貢献を目指してまいります。

参考 CO₂荷役・貯蔵設備写真



LCO₂貯蔵 1,200 t タンク



LCO₂ 出荷設備 (Loading Arm)